

## 東海支部 中野ミカン山訪問記

17期 渡邊 和文

愛知県の知多半島先端近く的美浜町にお住いで、自宅周囲の畑や近くの丘陵地で柑橘、野菜、花などを栽培されている中野謙一さん(8期)から甘夏の摘果作業にお誘いいただき訪問しました。

2021年4月30日(金)、メンバー(野村(12期)、柴田茂樹(13期)柴田訓子(13期)、川端(16期))はそれぞれの車で野間大坊の駐車場に集合。ここは源氏の頭領 源義朝終焉の地。中野さんの案内で義朝が長田一族に謀殺された湯殿跡のある法山寺、義朝家臣と長田一族が戦った乱れ橋、戦いの死者を埋めた千人塚やはりつけの松がある密蔵院、織田信長の三男信孝が幽閉され自害した安養院、白河天皇の勅願寺野間大坊(大御堂寺)などを散策。車で上野間漁港に向かい伊勢湾を180度眺望。そして、中野ミカン山に到着。たわわに実った甘夏の摘果作業を体験。昼食は各自持参の弁当に加え、特別メニューとして柴田夫妻に現地調理の豚汁をふるまっていただきました。海風に吹かれてのどかな中野ミカン山でのひと時を満喫。持ち帰り自由の甘夏と八朔を一杯いただいてミカン山を後にしました。近くの海老せんべい工場直売店に寄って試食や買い物をしてそれぞれの帰路につきました。

なお、来年の柑橘類は裏年で収穫が期待できないとのことで、次回は再来年(2023年)まで待つとのこと。コロナ禍も治まって皆さんと訪問できることを願っています。



## 「観音坂いちえ」訪問記

16期 川端 俊朗

昨年来の新型コロナウイルス蔓延に伴い、東海支部の活動も滞っております。今更ながらに、支部の会員の皆さんと、山歩きや飲み会を当たり前のように楽しめていたことが、ありがたいことだったと感謝いたします。

両親が亡くなり、金沢への帰省もしばらくご無沙汰していたので、八月に家内と二人でお盆の墓参りに出かけました。墓参当日は長雨の最中で、市内観光も出来ず、ふと、奥名さんからのメールを思い出し、黒崎会長のお店「観音坂いちえ」を訪ねてみました。15期の船田さんから、ベルクハイムはじめお手持ちの資料を寄贈いただき、同店に保管中とのことでしたので、是非とも見に行きたいと思いました。

お城の大手掘から昔のトレーニングロードを卯辰山に向かい、天神橋を越えて左の小道を東の茶屋に向かいます。途中から長谷山観音院に向かう石段を登ります。幸い黒崎マスターもいらっしゃり、おいしいお茶をいただきながら、雨の浅野川を眺め、ゆったりとしたひと時を過ごすことが出来ました。驚いたのは、小生がベルクハイム編集長を仰せつかった年度に作成したガリ版刷りの部誌に巡り合えたことでした。印刷部数も少なく、私の手元にも残っていません。ページをめくっていると、当時の活動の様子が思い出され、懐かしく、また編集部員たちの「くせ字」にも、それぞれの部員の情熱を感じる事が出来ました。家内はマスター特製のココアオーレの美味しさに感動しておりました。

OBの皆さん、金沢にいらっしゃる方々はもちろん、遠方にお住まいの方も来沢の折は是非とも「観音坂いちえ」をお訪ねください。特に奥様をお連れすれば亭主の株が上がる事請け合いですよ。(お立ち寄りの際はHPを参照してください)

(写真はHPより借用)

